

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	丹保の歴史と民俗を次世代へ伝承事業
事業主体 (連絡先)	丹保の今昔を語る会 飯田市上郷飯沼1131番地
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,865,629 円 (うち支援金:1,384,000円)

事業内容

丹保地区の古き良き時代の事が徐々に忘れ去られようとしている現在、祖先の生活・文化を5年をかけて学習してきたが、次世代に伝承してゆくための事業を実施する。

1. 学習してきたことをまとめ、解かりやすい冊子を作成する。
2. 作成した冊子を教科書として、地元住民に対し勉強会を実施する。
3. 冊子に関係個所に配布し、当地区のことを理解していただく



【冊子作成編集風景】

事業効果

- ① リニア工事で立退き移住者用代替え地の大規模土地造成、道路改修、建物工事、河川改修などが進み、地形も生活様式も変わってゆき、貴重な文化遺産も失われてゆく中、歴史を記録に残し伝承してゆくことは有効である。
- ② 冊子『丹保の歴史と民族』内容は住民の理解の他、近郊地区からも歴史的資料として評価された。
- ③ 住民学習会のアンケートから冊子作成の有効性と学習会の必要性の意見が多かった。

【目標・ねらい】

- ①丹保住民に未永く愛読してもらえるような冊子を作成する。
- ②住民に冊子を教科書とした勉強会を実施する。
- ③作成した冊子を丹保以外の関係個所に配布し、丹保の歴史・民俗をPRする。

※自己評価【 A 】

【理由】

1. 住民全員参加と編集委員が精力的に冊子作成にあたった結果、内容・装丁共満足する物が出来、歴史研究家などから高い評価を頂いた。
2. 住民に対する学習会は当初の計画どおり実施し、十分な効果が得られるよう努力したが、コロナウイルス感染対策のため殆どの集会在、自粛で不可能となり、非常に残念であった。特に学生、生徒の集会在学校の指導でできなかった。そのような状況下で、公的私的を問わず数人程度の小集会にも編集委員が出向き、学習会を実施して効果を上げることができた。

今後の取り組み

本年度予定した事業の内、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実施不可能だった学習会計画はコロナが終息した時点から、実施してゆき当初の計画をすすめると共に、新しく『丹保の歴史と民族』の活用方法を考えてゆく。